

株式会社石郷岡（材木店）と株式会社ウッドハート（プレカット工場）を見学

令和3年4月28日（水）に授業の一環として、木造建築科の訓練生を対象に弘前市にある住宅建築用木材を取り扱っている株式会社石郷岡と木材プレカット工場の株式会社ウッドハートの見学会を実施しました。

この見学会の目的は、建築資材が現場へどのように提供されているか、先進の加工技術である木造建築のプレカットがどのような工程で加工されているか、工場内で作業している方はどのように注意しながら作業しているかなど、訓練生一人ひとりによく見てもらい建築業界への理解と関心を深めるために実施しました。



当初は軸組材だけが機械プレカットの対象でしたが、現在では加工範囲が大きく拡大し、羽柄材（根太、間柱、筋交、垂木等）もプレカットできる工場が増えています。また、床合板や野地板などのパネルを加工する機械も普及してきており、床合板や野地板にも割付図が作成され、各部分材に番号がふられて現場に納品されるようになったことで、現場加工の手間が減り、軸組材のみのプレカットが行われていた頃と比べて現場作業の効率が向上しています。



どの木材をどのようにカットするかは、事前にCADでコンピュータに入力しており、木材1つ1つには個体識別用のバーコードが付与されていて、自動で木材が仕上がっていきます。そのため、工場の広さに比べてスタッフの数がとても少ないという印象を受けました。



機械の性能が向上し、現在では様々な継手・仕口の加工が可能になったということです。柱や梁等を機械で加工するので、継手・仕口が円弧状になっているのがプレカットの特徴です。工場内のストックヤードでは柱や梁など各部位ごとに材を保管しており、加工した材は物件ごとにまとめてビニールで養生し出荷されます。

工場内の木材加工装置は防塵と危険防止のため、カバーで完全に覆われていたのですが、直接中を見ることはできませんが、のぞき窓がついているので訓練生のみなさんはそこから加工の様子を興味深く見ていました。

材料となる製材品のストック状況を見てからプレカット工場へ移動し、柱加工、横架材加工などを見学し、工場見学は1時間ほどで終了しました。



今回の見学会で工場施設内を案内していただいた株式会社石郷岡の石郷岡様をはじめ、作業中にも関わらず親切に対応していただいた工場の方々には深く敬意を表し、心から感謝申し上げます。毎日、授業や実習で学んでいることがプレカット工場ではどのように材料が加工されているか十分理解できたのではないかと思います。今後の見学においても自分の目で直接現場等を確認し、見識を広げることが重要だと感じました。